

## 留学生と企業の架け橋として、専門学校ができること

### 留学生の日本国内就職を成功へ導くために

多くの専門学校が留学生受け入れを拡大する一方で、留学生の国内就職率は低迷している。この課題の解決に向けて、専門学校として何をすべきなのか。行政書士として留学生の在留資格変更手続き、日本企業へ留学生雇用のアドバイスを専門に行っている末吉由佳氏にお話を伺った。

#### 留学生採用に関して、日本企業に求められていることは？

今問題となっているのは、企業が留学生に内定を出しても、就労可能な在留資格を取得できず、結果的に日本で就職できないというケースが多々あることです。なぜ、このような状況が生じているのか？ その理由は、在留資格の審査基準に対する認識不足にあると思います。

専門学校の留学生は、卒業後就職する会社での業務内容に応じて留学の在留資格から「技術・人文・知識・国際業務」等の就労可能な在留資格へと変更することができます。しかし大学卒の場合、仕事と学んだ専門との関連性は比較的緩やかに審査されるのに対して、専門学校卒の場合は履修内容と業務に深い関連性が要求され、厳しく審査されます。具体的には、企業は配属部署の業務の詳細（入社して退社するまでの業務スケジュールや将来的なキャリアパス等）の提出を、同時に留学生本人には成績表と学校のシラバスの提出が求められ、入国管理局はその双方の関連性をチェックします。

こうした審査基準を理解せず、企業が学生時代のアルバイトと同様の単純労働や、留学生自身の専門と関連性のない業務で採用しようとしても、留

学生は就労の在留資格を取得できません。

さらに、関連性があっても審査で通らないケースもあります。簿記の勉強をした留学生を一般企業の経理部門で採用しようとしたところ、「経理ソフトが普及しているから、経理部門の業務は入力業務、単純労働」とみなされ、就労の在留資格を取得できませんでした。それほど審査は厳しいものなのだ、企業は認識する必要があります。

#### 専門学校として対応すべきことは？

一つ目は、留学生一人一人に対して、きめ細かく就職指導を行うことです。勉強内容と業務に関連性がなければ就労の在留資格への変更はできないのだと、留学生にしっかり伝える必要があります。留学生の中には、アルバイト先から「卒業後、採用したい」と言われ、実際は在留資格の変更が不可能な業務であるにもかかわらず、「これで日本で就職できる」と思い安心してしまの方も多からずです。

二つ目は、留学生が確実に就職できるよう、企業に対して積極的に情報提供を行うこと。例えば、企業向けに留学生採用に関する説明会を実施し、採用にあたっての注意点を認識してもらう。また、留学生が企業を訪問する際、

専門学校で学んだ内容がわかる詳細な資料を持参させ、当該企業における就労可能な業務・職種を検討してもらいやすいよう努めるなど、専門学校としてできることは数多くあります。

専門学校が、「日本で働きたい留学生」と「採用したい企業」の架け橋となって、双方がうまくマッチングできるようコミュニケーションを密にしていくことこそが、留学生の就職率向上につながっていくと考えます。

また今後は外国人就労拡大の政府の動き等、学校側で正しい情報収集・提供・支援を行う事が求められるようになると思います。

就労の在留資格への変更申請のケーススタディを知って、対応してほしい。  
続きは「専門学校と経営」WEBで！



末吉 由佳氏

平成19年、行政書士会に登録。行政書士法人の入管業務の責任者になり、留学生の在留資格変更手続き、外国人起業家のサポート等に従事。平成22年、「行政書士末吉由佳事務所」を開設。

TCE財団の検定事業に賛同いたします。末吉由佳

## 増え続ける留学生の住居確保の解決策は？

# [PR] 留学生サポートの充実で差別化を

増え続ける留学生を受け入れるに当たって、大きな課題となっているのが住居の確保だ。例えば、一つの部屋を数名でシェアするなど、学びに集中できない環境も存在するのが現状。そこで、学生市場に特化して学生専用物件の賃貸運営事業を展開している株式会社毎日コムネットレジデンシャルの代表取締役社長 山下敬司氏にその解決策についてお話を伺った。

### 住居探しの最初のハードルを解消

学生専用の賃貸物件を扱っている中で痛感するのは、留学生の場合、日本人の学生以上に、住居に関してきめ細かいサポートが必要であるということです。というのも、留学生は、異国での初めての一人暮らし、言葉の問題、生活習慣の違いなど多くの不安や困難を抱えているからです。そこで、弊社グループではできる限り、そうした不安を取り除き、安心、安全、快適に過ごしてもらうための住居の提供に努めています。

例えば、留学生にとって日本語での賃貸借契約は、住居探しの最初のハードルです。弊社グループは、英語、中国語、韓国語の多言語対応のインターネットサイトを運営しており、また、日本語、英語、中国語対応の中国人スタッフも在籍しています。そのため日本語に不安があっても、ストレスフリーでコミュニケーションが取れます。さらに、弊社グループ自身が貸主で、仲介業者を介さない直接契約であるため、インターネットでの契約が可能。つまり、来日しなくても、母国に滞在のまま、母国語で賃貸借契約が結

べるのです。これならば留学生本人はもちろん、日本語を解さないご両親にも安心してご契約いただけます。

### 充実した生活インフラで、安心、安全、快適に

留学生の生活サポートについても、様々な取り組みを行っています。家具・家電・高速インターネットを完備したお部屋、連帯保証人不要の保証人代行サービスの提供もその一つ。不慣れな買い物や個人での契約などで煩わされることなく入居できます。また、弊社グループの賃貸物件の入居者は全て学生で、入居者同士の交流会も開催しています。そうした環境も留学生にとって安心感につながると思います。

さらに、留学生の生活全般をバックアップすることも重要と考えています。例えば、専門学校の職員の方から、「留学生が登校していないので見に行してほしい」との連絡を受けた際は、弊社グループのスタッフが対応します。また、緊急トラブルの24時間365日対応や、修理・修繕に関する英語の窓口対応なども行っています。加えて、健康な生活の基本は“食事”



山下 敬司氏 株式会社毎日コムネットレジデンシャル代表取締役社長（株式会社毎日コムネット取締役）

と考え、現在、朝夕食事付きの賃貸物件開発に力を入れています。

### 留学生がもっと学びに集中できる環境づくりを

留学生が安心して学びに集中するには、生活の安定が欠かせません。だからこそ、専門学校の皆様には弊社グループの住居を核とした留学生サポートを活用してほしいです。

専門学校の先生からよく伺うのは、「留学生がバラバラに住んでいるためサポートが大変。集約したい」ということ。この課題を解決するために、弊社グループと複数の専門学校が連携して、準郊外に学生寮を造ることも可能です。今後、共に手を携えて、環境づくりを推進していければと願っています。

毎日コムネットは海外の学生様が安心して留学するためのサポートをご用意しています



お問い合わせ

東証二部上場企業

**毎日コムネット**

<https://www.maicom.co.jp/>  
〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-22  
八重洲龍名館ビル 4階  
レジデンシャル事業部マーケティング室  
TEL 03-5204-8510

毎日コムネットは、TCE 財団が運営する J 検・B 検を推奨いたします。

# JIN(日本留学生ネットワーク)第2回会議開催

## Japan International student Network

高度留学生の輩出を目指すことを目的とした情報交流会 JIN（日本留学生ネットワーク）は、2018年7月に発足し、9月12日に第2回の会議を開催いたしました。

留学生の「教育」と「就職」に関して、

採用する企業と専門学校が情報交流を深めることは、専門学校に在籍する留学生の就職率と就職力を高めるために最も重要なことのひとつです。JIN 会議では、留学生を積極採用している企業から、留学生の求めるスキルや、国

際人材に関する社内の取り組みを紹介いただき、その後全員でディスカッションを行いました。

JIN では、年間4回の会議開催を予定しており、今後も企業と専門学校の情報交流を促進してまいります。



JIN 会員間の情報交流フロー



### お問い合わせ

一般社団法人  
近未来教育環境推進機構 事務局  
(株式会社ビーアライブ内)  
TEL 03-3597-1885

JIN は、TCE 財団が運営する J 検・B 検を応援いたします。

# 第3回セキュリティコンテスト開催決定！

## MBSD Cybersecurity Challenges 2018

全国の専門学校・高等専門学校を対象としたセキュリティコンテストの開催が、今年も決定しました。本コンテストは、セキュリティ人材不足が叫ばれる中、学生のセキュリティへの興味喚起を目的として、現実味のある課題

へチャレンジするセキュリティ業務の疑似体験の機会を創出し、2016年より継続。昨年は全国32校、79チームのエントリーがありました。

1年目の課題はSNSシステム、昨年はオンラインバンキングシステムに

潜む脆弱性を探し出す内容でした。今年の課題はエントリーしたチームに10月中旬より配布されます。

詳細は【専門学校と経営】Webサイトに掲載します。今年も多数のエントリーをお待ちしています。



MBSD Cybersecurity Challenges 2017 最終審査会

主催：三井物産セキュアディレクション株式会社

M | B | S | D

後援：一般財団法人職業教育・キャリア教育財団  
一般社団法人全国専門学校情報教育協会

### お問い合わせ

【専門学校と経営】事務局

三井物産セキュアディレクションは、TCE 財団の検定事業に賛同いたします。

## 専門学校生対象 Spring & Summer 2018 Tシャツデザインコンテスト 最優秀作品決定

第6回となる「専門学校生対象 Spring & Summer 2018 Tシャツデザインコンテスト」の最優秀作品が発表されました。

今回は、過去最多の合計1148作品のエントリーがあり、その中から26作品がTシャツ製品となって発売。最も売れた上位3作品が最優秀賞を受賞し、各校で表彰式を行いました。



第1位 国際理工情報デザイン専門学校 三浦史菜さん



第2位 宮崎マルチメディア専門学校  
大久保宇都輝さん



第3位 清風情報工科学院  
竹内伸輝さん

主催：株式会社ジーンズメイト  
お問い合わせ：【専門学校と経営】事務局

ジーンズメイトは、TCE財団が運営するJ検・B検を応援いたします。

## 一般社団法人 ビッグデータマーケティング 教育推進協会 発足

2018年4月、一般社団法人ビッグデータマーケティング教育推進協会が発足し、5月10日に発足記者発表会を開催しました。本協会は地方創生の実現に向けた新たな取り組みとして、地域経済活性化に必要となる「データマーケター」を、行政、企業、専門学校を中心とした教育機関が連携し、育成することを目的としています。

今年度より教材開発をスタートし、年度内に会員によるレビュー、パイロット講座の開催を予定しています。



お問い合わせ：  
(一社) ビッグデータマーケティング教育推進協会 事務局  
TEL：03-6550-8825 Mail：info@jp-dream.or.jp  
<https://jp-dream.or.jp/>

Dreamは、TCE財団の検定試験事業に賛同いたします。

## topics

- 専門学校教員の方向け「VR授業設計研修」が、8月23日・24日に株式会社日本HP主催で開催されました。VRエンジニアのニーズを踏まえて、授業設計ワークショップを行いました。
- 旅行・航空業界の次世代の人材育成について産学で考えていく「AXESS教育研究会」定例会が、9月28日に開催されます。本研究会はJALグループの株式会社アクセス国際ネットワークが主催しています。
- 専門学校生対象「Tシャツデザインコンテスト」は、第7回の開催準備中です。近日中に【専門学校と経営】Webで告知します。

## 編集後記

「専門学校と経営」通信は、TCE財団の検定試験事業である、情報検定（J検）、ビジネス能力検定（B検）ジョブパスの認知獲得と、専門学校のスステイタス向上のため、専門学校の経営層の方に向けて産学連携の取り組みを中心とした情報を発信することを目的として企画した新たな媒体です。年4回発行を予定しておりますので、今後特集企画で取り上げて欲しいテーマなどを、事務局までお寄せいただければ幸いです。

●「専門学校と経営」は、TCE財団の検定事業（J検・B検）と連携して、専門学校の産学連携を促進する様々な取組について情報発信しています。

## 専門学校と経営 | 通信 No.01 2018年10月発行（年4回）

■本誌記事内容に関するお問い合わせ

「専門学校と経営」事務局

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-9-6 ヤノデンビル 6F (株式会社ビーアライブ 内)

[TEL] 03-3597-1885 [Mail] setten-info@sgec.or.jp [URL] <http://setten.sgec.or.jp/>

協力：一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 (TCE 財団) 事業部事業課 検定試験センター

「創る」「使う」「伝える」  
**情報検定 J 検**  
URL <http://jken.sgec.or.jp/>

ビジネス能力検定 B 検  
**Jobpass**  
ジョブパス  
URL <http://bken.sgec.or.jp/>